

— 論文 —

歩行者空間の類型化

—— アジア諸都市をケーススタディとして ——

金子 友美 芦川 智

Type Analysis of the Pedestrian Space

Tomomi Kaneko Satoru Ashikawa

One of the problems in modern society is to plan the pedestrian space in cities. We are eager to look for high quality pedestrian spaces that exist in our modern society, organize similar patterns and refer them for the future planning. Ultimately, our goal is to bring back the pedestrian space that has been removed by cars. Therefore, we extracted the main contents of the pedestrian space by collecting 100 attracted samples and understanding their properties with a multivariate statistical analysis. We made a simple model according to those main contents, examined the effectiveness of the model, and proposed it as a method to be useful for the future planning. This is a main result of this study.

1. はじめに

都市のオープンスペースは、道路、公園、広場等の公共のパブリックスペースとして都市生活者にとって不可欠の空間を提供している。このオープンスペースの中で歩行者のための空間は、都市空間のアメニティーを享受するために有効な空間となっている。とかく車による利便性によって歩行者の空間が疎外される傾向にある一方、持続可能な環境の形成が叫ばれる現代にあって、歩行者の復権と歩行者空間の形成が望まれる。そこで、この研究は各地あるいは各国に見いだされる良質な歩行者空間の事例を探り、その空間の位置づけを示し、現代の計画の中に活用していくための手法を提案するものである。

ここで歩行者空間を以下のごとく定義する。

すなわち「都市の道路あるいは通路等から建物施設の空間を除外して作られる空地のうち、もっぱら車の用に供する空地を除外して作られるものを歩行者空間とする。」(学苑第535号『空間配列についてのノート—広場の形態論—』参照)

人間の行動は歩行状態の活動と車あるいは公共交通機関に頼ったものとに分かれる。車あるいは公共交通機関の歴史的発展状況はめざましいものがある。しかし、歩行状態は人間が2足歩行して以来、状況はあまり変わっていない。そして、歩行による活動は、車あるいは公共交通機関による活動に取って代わられる状況が歴史の過程であった。都市、地域の形態も歩行者の空間より公共交通機関あるいは車を優先した

計画が近現代の主流となっていた。

都市の外部空間の中で歩行者の空間は車道の片隅に路側歩道として採られている形が一般的である。ヨーロッパの広場は形成時点では、歩行者の空間として作られてきたが、車の駐車場不足から時代が進むにつれて、駐車スペースに転用され歩行者専用空間が削減された広場は数多く存在している。

一般に歩行者の行動パターンをモデル的に示すと以下ようになる。

- A. 日常生活圏における歩行者行動：居住区域から歩行で移動することを原則とした行動。
 起点（居住地）→（歩行）→ 目的→（歩行）→ 終点（居住地）
- B. 広域生活圏（高次生活圏を含む）：起点→（端末歩行）→ n（車or公共交通機関+目的+車or公共交通機関）→（端末歩行）→ 終点

Aの歩行とBの端末歩行とは基本的にその性格は異なる。前者は日常生活圏での環境づくりの要素として重要な意味を持つが、後者の端末歩行については機能的な移動空間であれば事足りる。目的となるものはA、B共に屋外空間、建物内部空間共にあり得る。Bの広域圏（高次生活圏）での目的空間は端末歩行を含んで目的活動であるといえる。この場合の端末歩行は単に移動空間である場合とそれ自体目的空間に内蔵される場合がある。

2. 形態分析の基礎条件

さて、日常生活圏における目的とする活動は人間集合の規模からすると向こう三軒両隣などに見られるように比較的小規模で成り立つが、広域圏での目的とする活動には、祭のような大規模な人間集合となるものを含んで原則として規模が拡大するのが一般的である。

そして自然とその規模の大きなものを入れる

容器としての空間は都市全体にまでも拡大して行く可能性がある。歩行者空間を当面日常生活圏から高次生活圏に至る対象まで両面を含んだ形で考えていく。

アジアを中心に良好な歩行者空間を100事例選定したものがリストに示されている。事例の観察については、あくまでも現在時点の状況として行っている。リストにはその事例をもっともよく代表する写真を最低1枚添わせている。

これはヨーロッパを中心とした地域には広場の伝統があり、広場を中心とした調査を行ってきたが、アジア、日本については広場の伝統が希薄でむしろ広場に代替できる空間が何かを探索する形で調査を行ってきた。その結果、アジアの都市には様々なタイプの歩行者空間が存在し、それらを分析の対象とすることで、今後の研究の基盤をつくるのが可能であると考え、対象を日本とアジアの事例とした。

また、良好の基準は歩行者空間として調査時点で活用されていることと、それが都市全体の中で重要な存在となっていることである。広場の場合は都市のセンターとして活きている対象を調査してきたが、歩行者空間としては必ずしもセンター要素としてばかりでなく、地区の部分として市民のコミュニティー空間となっており、活きた空間となっているものをも対象とした。（表1 100事例リスト参照）

100事例について空間の特性を把握し記述するカテゴリーとして以下のような項目を設定する。これはできるだけ客観的な判断が可能な項目として設定することを考えている。

1. 空間の機能に関係する建築物がある：その空間の周囲にある建築物によって、その空間の機能が決まる場合である。項目としては以下の4つをとりあげる。

- A. 主要な建築物がある…市庁舎、大聖堂などの重要な宗教施設、美術館・学校等の

表1 100事例リスト

<p>001:ラサのポタラ宮広場</p> <p>17世紀にダライ・ラマによって建設された宮殿はラサのシンボルである。前庭の中国政府が建設した記念広場が宮殿を引き立てている。</p>		<p>011:バクタプールの インドラヤニ広場</p> <p>バクタプールの導入口の広場で、ヒティ(水汲み場)やサッタール(宿泊所)が配置。中心に大木と神を祀った像がある。</p>	
<p>002:ラサの八角街広場</p> <p>ラサのもっとも聖なる寺院大昭寺の前の八角街広場は20世紀後半に建設された。寺院正面には五体投地の石畳が広がる。</p>		<p>012:バクタプールの タウマンデイトール</p> <p>バクタプールのほぼ中央に位置する広場で北側に5層の屋根を持つニヤタボラ寺院がある。カトマンドウ盆地で最も高い寺院でバクタプールのシンボルである。</p>	
<p>003:ラサの八角街</p> <p>大昭寺を中心とする巡礼路の一つがバルコル(八角街)と呼ばれ右回りで人々は祈りながら回る。バルコルには常設仮設の商業施設が並ぶ。</p>		<p>013:バクタプールの タチュバルトール</p> <p>広場中央に15世紀建立のダットラヤ寺院が位置する広場で、周りを木彫の建築が取り囲む。周囲にダルマシヤラ(休憩所)が付属されている。</p>	
<p>004:カトマンダウの王宮広場</p> <p>ネパールの首都カトマンダウのイメージの中心広場は王宮にそった広場で、いくつもの寺院が広場内に位置している。ダルバール・スクエアと呼ばれている。</p>		<p>014:バクタプールの 生活中心の通り</p> <p>バクタプールの中心でいくつかの小広場をつなぐ通りで、各所に寺院、ヒティ、パティ等や商業施設が配置され、メインストリートを構成している。</p>	
<p>005:カトマンダウのアサントール</p> <p>カトマンダウの旧市街6方向からの街路が合流する小さな広場で、木造格子の家が並び、露店が朝早くから活気が途絶えることがない。</p>		<p>015:客家の土楼内</p> <p>漢族の城塞的形態をもつ集合住宅である。中央に祖堂や井戸が配置され、集合住宅に居住する人々の共用広場を構成している。</p>	
<p>006:カトマンダウのケルトール</p> <p>17世紀建立のマチェンドラナート寺院の前広場。マチェンドラはヒンドゥー教徒・仏教徒両方から信仰される雨と豊穡の神である。</p>		<p>016:天安門前広場</p> <p>北京の紫禁城の天安門の前に辛亥革命後建設された広場で、世界最大の規模を有する。</p>	
<p>007:カトマンダウの マチェンドラナート境内</p> <p>ケルトールに狭い入り口を有する17世紀建立の寺院内部である。至る所金属で装飾された境内は狭く、周りは商業施設が並ぶ。</p>		<p>017:廈門の騎廊</p> <p>中国の商業空間として道路に沿った部分に設けられた騎廊と呼ばれるアーケード空間がある。町並みに対して半屋外空間となっている。</p>	
<p>008:カトマンダウの スワヤンブナート境内</p> <p>カトマンダウの西、100m程登った丘の上に建つ東南アジアで最古のスワヤンブナートである。中央のスワヤンブナの周囲に数多くの祠があり、仏教の巡礼地となっている。</p>		<p>018:北京の胡同</p> <p>北京の旧市街、胡同(フウトン)は細街路空間であり、周辺には四合院の住居が並ぶ。通りは居住者の共用空間となっている。</p>	
<p>009:カトマンダウの ボダナート境内</p> <p>ネパールで最大のスワヤンブナートでチベット仏教の主要な巡礼地となっている。信者はスワヤンブナートを右回りに回る。その周りには商業施設が並ぶ。</p>		<p>019:角直の廊棚</p> <p>蘇州の東25kmにある古鎮で南北に走る南市河に沿った屋根付きの商店街通りで、水路に沿った部分にベンチが付属してくつろぎの空間を構成している。</p>	
<p>010:パタンの王宮広場</p> <p>15世紀～17世紀の古都パタンの王宮前の広場で、ヒティ(水汲み場)と種々の寺院が散在し、周囲には食材、雑貨、土産物屋の店が並ぶ。</p>		<p>020:周庄の北市街</p> <p>蘇州の南東30kmにある水郷鎮周庄の北市街は南北市河に沿う商店街で、水路との間に柳の並木があり、良質な水辺環境が作られている。</p>	

<p>021:西塘の石皮弄</p> <p>蘇州の南東約50kmに位置する水郷鎮で石皮弄は住居の間の細い街路で幅員平均1mとせまい。間に住居への入り口が配置されている。</p>		<p>031:パリのトゥンガナの 帯状広場</p> <p>トゥンガナはバリアガの伝統的集落で中心となる空間は25m×600mの帯状広場である。広場には集会施設や倉、作業小屋等が配置され、祭時には人で埋まる。</p>	
<p>022:西塘の烟雨長廊</p> <p>水郷鎮西塘のメインストリート烟雨長廊は、屋根付きのアーケード空間で300mの長さを有し、中間部分に送米風橋が位置している。</p>		<p>032:パリのブクブクの帯状広場</p> <p>パリのカラニアスム王国の集落で370m×15mの帯状広場が集落の骨格となる。広場の中央部に祭の時に集会するための施設が配置されている。</p>	
<p>023:烏鎮の廊棚</p> <p>蘇州の南約65kmに位置する水郷鎮である。南北と東西の水路が交差するところが中心である。東市河に沿った廊棚沿いにベンチがあり人々の憩いの空間を作っている。</p>		<p>033:プンリプランの メインストリート</p> <p>北側のペナタラン寺院からのびる通りが集落の骨格をなす。各住居はこの通りに面してサンガ(神を祀る場所)を配置する。</p>	
<p>024:麗江の四方街</p> <p>麗江の四方街は町の中心の広場で四方へのびる街路の交差する中心という意味をもっている。商業施設が並び、イベント空間となっている。</p>		<p>034:アムラブラのパサール空間</p> <p>カラニアスム王国の都のパサール(市場)は表通りから一歩入った位置にあり、4つのゾーンに分かれて区分され、その入り口部分に市場の寺がある。</p>	
<p>025:麗江の街路空間 (車乗り入れ禁止地区)</p> <p>麗江の中心四方街から延びる街路は基本的に歩行者空間となっており、町の外周部分に駐車場を配している。</p>		<p>035:ジョードブルの 時計塔市場広場</p> <p>ワールマール王国の首都で、ラージャスターン州第2の都市。旧市街は城壁で囲まれその中心が時計塔市場広場である。広場をメヘランガル城が見下ろしている。</p>	
<p>026:大理城門内の メインストリート</p> <p>雲南省西部に位置するベ族自治州の州都である。城門内のメインストリートには商業施設が並び中央の楼閣までの空間が大理古城のシンボルの空間である。</p>		<p>036:プシュカルのガート空間</p> <p>プシュカル湖の周囲にできたヒンドゥー教の聖地である。湖に接する空間は階段状のガート空間が続き沐浴の空間となっている。</p>	
<p>027:馬胖郷の鼓楼と 戲台前広場</p> <p>馬胖郷は中国三江トン族自治州の中心で広場には9つの屋根を重ねた鼓楼と舞台装置としての戯台があり、コミュニティの空間となっている。</p>		<p>037:プシュカルの サダル・バザール</p> <p>プシュカル湖のガート空間から一歩外側にある商店街空間がサダル・バザールである。この通りから聖なる沐浴の空間への入り口が各所に記されている。</p>	
<p>028:程陽の鼓楼と 戲台前広場</p> <p>トン族の集落程陽へは程陽風雨橋を渡って導入されるが、集落中心には7層の屋根を持つ鼓楼と戯台が配置され、コミュニティの場となっている。</p>		<p>038:アジュメールのダルガー</p> <p>スーフィーの聖人の廟ダルガーのある町としてアジュメールは知られている。門の内側は参拝者であふれているが、門の外側はバザール空間が広がる。</p>	
<p>029:九份の豎崎路(階段)</p> <p>台北のかつて鉱山跡の集落であるため、丘陵地に広がる集落として、メインストリートが階段空間であり、九份の魅力的な空間として地名性を有している。</p>		<p>039:アジュメールの MADAR門前広場</p> <p>旧市街のMADAR門前の広がった空間が市場空間となっている。露店が並び周囲の商店と共に賑わいを見せている。</p>	
<p>030:九份の基山街</p> <p>豎崎路と交差する基山街は平坦な街路で商業集積も前者よりも数多いが、知名度は前者に比べてやや劣る。</p>		<p>040:ルーバングルの商店街通り</p> <p>ラージャスターン州の小規模な城塞都市である。ラールゲート門から城までの通りはメインストリートであり、商店、レストラン、寺院等が並び通りである。</p>	

<p>041:ジャイプルの バリ・チョウバル</p> <p>ラージャスターン州の州都で、格子状の道路網で構成され、メインの公道に沿ってバリ・チョウバルが位置する。交差点と広場が同居する100m角の規模を示す。</p>		<p>051:シバームの城壁内街路</p> <p>砂漠の摩天楼と呼ばれるイエメンの城塞都市で5階から8階の住居に囲まれた街路は、プライベートな街路とパブリックな街路に区分され、共用の広場が散在する。</p>	
<p>042:ジャイプルのジョハリ・バサールアーケード</p> <p>バリ・チョウバルから延びる大通りがジョハリ・バサール通りで両側にはアーケードが並ぶ。</p>		<p>052:サヌアのスークゾーン</p> <p>標高2300mの高原盆地の首都であるサヌアの旧市街は5つの門と多くのモスクのミナレットが立つ町でその中心はイエメン門から延びる喧噪のスークゾーンである。</p>	
<p>043:マトゥラーの ヴィシュラム・ガート</p> <p>ウツタル・プラデーシュ州マトゥラー県の県都、ヤムナー川に沿ったヴィシュラム・ガートは最も重要なガートである。</p>		<p>053:ハジャラの城壁内街路</p> <p>標高2300mの中央高地帯の要塞集落である。5~6階の石造の塔状住居が林立する城壁内は細街路である。人口400人程度の集落で、完全に歩行者空間である。</p>	
<p>044:マトゥラの NALLAガートと寺院</p> <p>ヤムナー川に臨むガート空間の一つであり川に沿った沐浴場に対して背景として立派な門構えを持つ寺院がある。</p>		<p>054:マンガーの船着き場の 商店街</p> <p>バンコク・サイ運河沿いにある水辺に張り出した商店街で、その起点にあるのは船着き場と寺の空間である。</p>	
<p>045:アーグラのキナリバザール</p> <p>タージ・マハルで有名なアグラの旧市街の歴史ある市場がキナリバザールである。</p>		<p>055:バンコクのチャイナタウン</p> <p>バンコク、サンベンレーン通りを中心としてチャイナタウンが広がっている。その表通りに対して裏通りが独特の細街路となり生活臭の強い空間を構成している。</p>	
<p>046:ヴァラナシの ダシャーシュワメード・ガート</p> <p>ヒンドゥー教の聖地ヴァラナシはガンジス川に接する都市で4kmにおよぶガート(階段)の空間が都市の重要な空間として象徴化されている。</p>		<p>056:バンコクのハン橋周辺街路</p> <p>チャイナタウンの起点でオンアン水路上に架かる橋がハン橋である。橋上を中心にくまなく商店街が広がっている。</p>	
<p>047:ヴァラナシのヴィシュワナート 寺院周囲の細街路マーケット</p> <p>ヴァラナシのヴィシュワナート寺院は黄金の寺と呼ばれヒンドゥー寺院として重要な巡礼路を構成している。この巡礼路が細街路マーケット空間となっている。</p>		<p>057:ソウルの清流川 (復元された流れ)</p> <p>ソウルの中心部に東西に流れる清流川はかつて暗渠化されていたが2005年に親水空間として市民の憩いの場、イベントの場として復活した。</p>	
<p>048:イスラム都市カスバ・ メディナの細街路空間</p> <p>イスラムの都市の一般形であるが幅員が限られた細街路が都市全体を均質に埋め尽くす。外来者にとっては迷路状であるが、居住者にとっては共用空間である。</p>		<p>058:台北の士林夜市</p> <p>台北で最大規模の夜市である士林夜市は常設の市場施設を中心にそこから延びる大東路とさらに細街路を含めて広がっている。</p>	
<p>049:イスタンブルのカバード マーケット</p> <p>イスタンブルのグランドバザールは巨大なエリアを屋根付きにして強い日差しを遮り商業空間として適した環境を作っている。ハイサイドライトで一定の明るさを確保。</p>		<p>059:台北の饒河街観光夜市</p> <p>台北松山駅の北側の寺慈祐寺を起点として八徳路四段の大通り手で約400mが範囲で、庶民的な夜市である。</p>	
<p>050:イスタンブルの イエニ・ヴァリデ・キュリエ</p> <p>キュリエとはモスクを中心に複数の公共施設が集まった複合都市施設である。このキュリエは市場と墓廟とモスクと広場の複合である。</p>		<p>060:三峡民権街</p> <p>台北の南西の町三峡で最も古い定期市が起源の商店街である。日本統治時代に形成された煉瓦造りの家屋が並び亭仔腳という歩廊が連なる。</p>	

<p>061:大溪和平路</p> <p>清国時代からの物資の集散地であった商業都市大溪で最も繁栄した商店街が和平路である。車道の両側に石造りの亭仔脚が並び特徴ある街並みとなっている。</p>		<p>071:琴平の大門手前の参道空間</p> <p>香川県琴平は金刀比羅宮の門前町であり、参道の大門までは階段の両側に数百軒の土産物店や旅館が並ぶ。</p>	
<p>062:台北迪化街</p> <p>台北の淡水河の水運と共に誕生し、積み出しのための倉庫街として発展した。1階に亭仔脚が配置されているが、商品が並べられており、店の一部となっている。</p>		<p>072:琴平の大門内側の境内</p> <p>金刀比羅宮の大門の内側は奥社まで斜面と階段が続くが、商業施設はなく、神聖な参道空間となっている。</p>	
<p>063:寺内町今井町の路地</p> <p>奈良県橿原市にある中世の環濠集落を母体として発展した町である。細街路を基本として防御の体制を取った町のスタイルが保存されている。</p>		<p>073:パルテノン多摩の階段</p> <p>多摩市立複合文化施設の愛称がパルテノン多摩であり多摩センター駅から延びる歩行者専用道路の延長に階段があって地域のイメージを作り上げている。</p>	
<p>064:浅草の浅草寺と仲見世通り</p> <p>浅草浅草寺の境内に商店や芝居小屋ができたのが起源で庶民の盛り場、娯楽場として発展したのが仲見世であり雷門から境内への参道として重要な空間である。</p>		<p>074:谷中商店街と夕焼けだんだん</p> <p>谷中銀座の近くの地形を吸収するために設けられた階段で、「夕焼けだんだん」と名称づけられたことから商店街のイメージと結びつけられて人々に愛されるようになった。</p>	
<p>065:茨城県営松代団地の上の道</p> <p>中庭を囲む4棟の住棟の4階部分にペDESTリアンデッキを計画して、土の空間とオープンスペースを配して住民のコミュニティー空間となっている。</p>		<p>075:京都の辻子</p> <p>京都の町屋は表通りに面するが、反対側の空間は辻子と呼ばれる細街路となっており、その通りに面している居住者の共用空間となっている。</p>	
<p>066:柏駅前デッキ空間</p> <p>JR常磐線柏駅前のペDESTリアンデッキは柏駅祭りの場となっており、市民の憩いの場であると同時に、イベント空間でもある。</p>		<p>076:横浜デルタ地域の大通り公園</p> <p>横浜デルタ地帯のかつての吉田川、新吉田川の運河を埋め立てて、地下に市営地下鉄、地上に緑地と水による歩行者空間を計画したものである。</p>	
<p>067:薬師寺伽藍境内</p> <p>奈良薬師寺は東西の3重の塔で有名であるが、境内は仏教寺院の神聖な空間としてある。</p>		<p>077:札幌大通り公園</p> <p>札幌市の中心部を東西に横切る公園で幅105m長さ1.5kmに及ぶ。毎年雪祭りの会場になる事や、クリスマスのイルミネーションにより札幌のイメージの中心となっている。</p>	
<p>068:法隆寺伽藍境内</p> <p>奈良斑鳩の里法隆寺は世界最古の木造建築として重要な文化財である。金堂と五重塔が並び境内は神聖な空間となっている。</p>		<p>078:大内宿</p> <p>福島県南会津郡にある宿場町。日光から会津若松に通じる旧会津西街道に位置している。国の伝統的建造物群保存地区として指定されて江戸時代の雰囲気が残されている。</p>	
<p>069:さいたま新都心横断歩道橋</p> <p>さいたま新都心駅は首都移転の構想の元に建設された駅である。駅から延びるペDESTリアンデッキは新都心の業務地域を結び良質な街路空間としている。</p>		<p>079:竹原町並み</p> <p>1982年国の伝統的建造物群保存地区として指定され音の製塩業で栄えた街並み保存を行ってきた。</p>	
<p>070:尾道の斜面の細街路と階段</p> <p>都市尾道は寺町を中心とする斜面地と漁村集落地であった平坦地に分かれるが、斜面地を構成するのは階段と細街路で車の入れない空間がほとんどである。</p>		<p>080:海野宿</p> <p>1987年国の伝統的建造物群保存地区として指定され中山道の宿場町で養蚕業が盛んであった街並みが残されている。</p>	

<p>081:奈良井宿</p> <p>長野県塩尻市で中山道34番目の宿場町。難所鳥井峠前の宿場。重要伝統的建造物群保存地区の指定で当時の街並みがそのまま保存されている。</p>		<p>091:瀬戸内海笠島町筋通り</p> <p>塩飽諸島の中心である本島にあり、戦国時代塩飽水軍の本拠地であった。江戸時代には回線問屋を中心に町並みが形成された。伝統的建造物保存地区指定された。</p>	
<p>082:妻籠宿</p> <p>中山道42番目の宿場町。長野県木曾郡南木曾町に位置。重要伝統的建造物群保存地区の指定を1976年に受ける。</p>		<p>092:瀬戸内海御手洗 旧遊郭街</p> <p>広島県大崎下島の港町。江戸時代以降潮待ち・風待ちの港町として賑わった。北前船の廻船の発達により水夫の待合い茶屋が置かれるほどであった。</p>	
<p>083:馬籠宿</p> <p>中山道43番目の宿場町で岐阜県中津川市に位置する。旧本陣を藤村記念館としている。</p>		<p>093:西戸山タワーガーデン広場</p> <p>新宿区百人町に位置する3棟並ぶ高層住居で足下に住人のコミュニティーのための広場が作られている。</p>	
<p>084:金沢近江町市場</p> <p>石川県金沢市の中心部にある市場で、生鮮食料品、生活雑貨を扱う小売店が主体の市場である。約170店舗の商店、飲食店が軒を連ねている。</p>		<p>094:巣鴨とげ抜き地藏商店街</p> <p>東京都豊島区巣鴨にある曹洞宗の寺院萬頂山高岩寺が通称とげ抜き地藏と呼ばれている。地藏から巣鴨駅までが地藏通り商店街として親しまれている。</p>	
<p>085:高山陣屋前広場と 上三之町通り</p> <p>高山の中心は、江戸幕府の直轄領として管理するための陣屋跡である。現在陣屋前の広場では朝市が有名。上三之町通りが旧市街のメインストリートで見所となっている。</p>		<p>095:恵比寿ガーデンプレイス センター広場</p> <p>目黒区恵比寿のサッポロビールの工場跡地を開発してきた複合商業施設であるが、そのセンター広場はガラス屋根が掛かっている。</p>	
<p>086:外泊石垣集落</p> <p>愛媛県の石垣で組まれた漁村集落で、未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選に選定されたもの。</p>		<p>096:博多キャナルシティ</p> <p>福岡市博多区にある複合商業施設である。中央のオープンスペースに運河の空間を作り、イベント空間としており名称の由来となっている。</p>	
<p>087:鞆の浦港と町並み</p> <p>広島県福山市の沼隈半島の先端にある港町で古代より潮待ちの港町として知られている。</p>		<p>097:横浜クイーンズスクエア</p> <p>ショッピングモールやオフィスビルであるクイーンズタワーがある施設で横浜市西区みなとみらいに位置する。足元周りが複合商業施設となっている。</p>	
<p>088:内子町町並み</p> <p>愛媛県南予地方の町でハゼの流通で財をなした商家が立ち並び、町並みが美しく白壁と木塼の街づくりを進めてきた。</p>		<p>098:亀戸サンストリート</p> <p>東京都江東区亀戸で第二精工舎の工場跡地に建設されたオープンモール型ショッピングセンター。別名ランブリングマーケットと呼ばれている。</p>	
<p>089:伊香保の石段街</p> <p>石段町の両側に温泉宿、土産物屋、飲食店が軒を連ねている。石段が温泉町のシンボルとなっている。石段の下には黄金の湯の源泉が流れ、石段の上は伊香保神社である。</p>		<p>099:品川東口開発の 公園施設</p> <p>品川セントラルガーデンとは、品川駅東口地区再開発地区計画の開発区域のうちA1地区、B1地区の建物間に南北に広がる幅約45m、長さ約400mの歩行者大空間である。</p>	
<p>090:江ノ島の参道空間</p> <p>神奈川県江ノ島は江ノ島弁天橋を渡るとそのまま江ノ島神社への参道空間である。両側に土産物屋と飲食店が並び階段と平坦な部分によって構成されている。</p>		<p>100:六本木ヒルズ センター広場</p> <p>文化都市をコンセプトにした複合商業文化都市であるが、その足元にイベント広場空間がセンター広場として作られている。</p>	

うち都市を代表する施設。

- B. ランドマークがある … 塔、鐘楼、門など、都市の目印となるようなもの。
 - C. 水場がある … 噴水、井戸、泉など人工的に設けられた水に関する施設の他に、河川・湖沼も含む。
 - D. 記念碑およびそれに類するもの … 碑、記念碑、モニュメント、記念柱、彫像など。
2. 空間の形状を示す：空間の平面形状を以下の3つに分類した。
- E. 単一単純型 … ひとつのまとまりとして認識できる空間形状。
 - F. 複合連携型 … 複数のまとまりが連携して構成される空間形状。
 - G. 複数配列型 … 複数のまとまりがそれぞれ独立して隣接する空間形状。
3. 空間の機能の設定：機能の種類としては、都市全体にとって重要な機能か、サブ的な機能かを判断する項目として、通過機能的か滞留的かを判断し、中心的な名称付けがなされている場合にはさらに主要な都市機能を持っていると判断し、商業機能が加わっている場合にさらにそれは強化されるとして項目を設定している。
- H. 通過交通を担う … 対象空間のなかに交通機能を含む場合。
 - I. 交通の結節点である … バスターミナル、路面電車など複数の交通機関が乗り入れている、それらの乗り換えのための結節点となっている場合。
 - J. 商業活動が行われる … 店舗・市場・露店など商業施設がある場合と、その空間の名称が市場や商業活動を意味するもの。
(markt, marcheなど)
 - K. 名称が中央や主要を意味する … main square, center, grand place, mayor, high street, grote など。

- 4. 人間の行為によって機能が決まる：歩行者空間としてどの程度の間集合の規模を入れる容器として設定しているかを判断する項目として以下の5つを挙げている。
 - L. 観光地である (不特定多数の人が訪れる)。
 - M. 市民の憩いの場である。
 - N. 祭・イベントが行われる。
 - O. 主に近所の人々が使う。
 - P. 使用者が限定されている。
- 以上のカテゴリーについて100のサンプルを判断したリストが表2に示される。

3. 多変量解析による歩行者空間の類型化

表2を数量化Ⅲ類の多変量解析に適用させた結果が以下に示される。

表3 固有値表

軸No.	固有値	寄与率	累積%	相関係数
1	0.2569	25.7%	25.7%	0.5069
2	0.1953	19.5%	45.2%	0.4419
3	0.1043	10.4%	55.7%	0.3230
4	0.0731	7.3%	63.0%	0.2704
5	0.0616	6.2%	69.1%	0.2482
6	0.0584	5.8%	75.0%	0.2417

表4 カテゴリースコア表

項目No.	項目名	カテゴリー名	1軸	2軸	3軸
1	主要な建築がある	A1 YES	1.656442	-0.480691	-0.545296
		A2 NO	-0.972831	0.282311	0.320253
2	ランドマークがある	B1 YES	1.998090	-0.216239	-0.753325
		B2 NO	-1.123909	0.121635	0.423745
3	水場がある	C1 YES	0.671780	-0.215795	0.703969
		C2 NO	-0.447853	0.143863	-0.469313
4	記念碑及びそれに類するものがある	D1 YES	1.312081	-0.958926	-0.360927
		D2 NO	-0.675921	0.493992	0.185932
5	単一単純型	E1 YES	2.122356	0.866990	-3.876342
		E2 NO	-0.404258	-0.163217	0.738351
6	複合連携型	F1 YES	0.818158	-0.043092	3.423099
		F2 NO	-0.523084	0.027551	-2.188539
7	複数配列型	G1 YES	-1.463685	-0.267325	-1.588431
		G2 NO	1.197591	0.218721	1.299625
8	通過的機能を担う	H1 YES	-1.373377	-0.969888	-0.153186
		H2 NO	1.678571	1.185419	0.187227
9	滞留的機能を担う	I1 YES	1.678571	1.185419	0.187227
		I2 NO	-1.373377	-0.969888	-0.153186
10	商業活動が行われる	J1 YES	-0.366251	-0.977824	-0.287057
		J2 NO	0.854588	2.281589	0.669801
11	名称が中央や主要を意味する	K1 YES	3.083660	-1.819337	-2.836887
		K2 NO	-0.232103	0.136939	0.213288
12	観光地である	L1 YES	0.298508	-0.820060	-0.145342
		L2 NO	-0.999353	2.745419	0.486679
13	市民の憩いの場である	M1 YES	-0.427302	2.93478	0.234414
		M2 NO	-0.201084	-0.985166	-0.110312
14	祭・イベントがある	N1 YES	2.099409	-0.487869	-1.545398
		N2 NO	-0.776494	0.180445	0.571586
15	主に近所の人々が使う	O1 YES	-0.880153	3.768730	-1.443210
		O2 NO	0.206456	-0.884023	0.338531
16	使用者が限定されている	P1 YES	-0.770414	4.388339	-1.642998
		P2 NO	0.105066	-0.597796	0.224045

以上の結果から1軸2軸3軸の性格を判断すると以下のようなになる。つまり、1軸の(+)側：都市の中心的な内容でパブリック性の強い性能を有する。1軸の(-)側：都市の日常的

表2 サンプルの評価表

事例 コード	カテゴリ記号	事例	機能に関する建築物がある				空間の形状を示す			空間の機能を示す				行為を示す			
			主要な 建築物 がある	ランド マーク がある	水場が ある	記念碑的 な物に 類する 物がある	単一的 単純型	複合 連続型	複線 配列型	連続的 機能を 担う	滞留的 機能を 担う	商業活 動が行 われる	名称が中 央や主 要を意 味する	観光地であ る(不特定 多数の人が 訪れる)	市民の憩 いの場 である	祭・イベ ントがあ る	主に近所 の人々が 使う
1		ラサのボタラ宮広場	1	1	1	1	1	1				1	1	1			
2		ラサの八角街広場	1	1		1	1				1	1	1				
3		ラサの八角街	1	1		1					1	1	1				
4		カトマンドゥの王宮広場	1	1	1	1				1	1	1	1				
5		カトマンドゥのアサントール	1	1		1				1	1	1	1				
6		カトマンドゥのケルトール	1	1		1				1	1	1	1				
7		カトマンドゥのマチェンドラナート境内	1	1	1	1	1	1			1	1	1				
8		カトマンドゥのスワヤンナート境内	1	1		1				1	1	1	1				
9		カトマンドゥのボダナート境内	1	1		1	1	1			1	1	1				
10		パタンの王宮広場	1	1	1	1				1	1	1	1				
11		パクタールのインドラヤニ広場								1	1	1	1				
12		パクタールのタウマンディートール	1	1	1	1	1	1			1	1	1				
13		パクタールのタチュバルトール	1	1	1	1				1	1	1	1				
14		パクタールの生活中心の通り			1	1				1	1	1	1			1	1
15		客家の上樓内	1							1	1	1	1			1	1
16		天安門前広場	1	1		1	1			1	1	1	1			1	1
17		廈門の騎廊								1	1	1	1				
18		北京の胡同								1	1	1	1			1	1
19		用直の廊棚			1					1	1	1	1				
20		周庄の北市街								1	1	1	1				
21		西塘の石皮弄								1	1	1	1				
22		西塘の烟雨长廊			1					1	1	1	1				
23		烏鎮の廊棚			1					1	1	1	1				
24		麗江の四方街	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1				
25		麗江の街路空間(車乗り入れ禁止地区)			1					1	1	1	1				
26		大理城内のメインストリート	1	1	1	1	1	1			1	1	1				
27		馬胖郷の鼓楼と戲台前広場	1	1						1	1	1	1			1	1
28		程陽の鼓楼と戲台前広場	1	1						1	1	1	1			1	1
29		九畹崎路(階段)								1	1	1	1				
30		九寨山街								1	1	1	1				
31		パリのトゥンガナの帯状広場	1	1						1	1	1	1			1	1
32		パリのブグブグの帯状広場	1	1	1	1	1	1			1	1	1			1	1
33		ブシリランのメインストリート								1	1	1	1			1	1
34		アムラブラのバサール空間	1	1		1				1	1	1	1				
35		ジョードブルの時計塔市場広場		1	1	1	1	1			1	1	1				
36		プシュカルのガート空間			1					1	1	1	1				
37		プシュカルのサダル・バザール								1	1	1	1				
38		アジュメールのダルガール	1	1	1	1	1	1			1	1	1				
39		アジュメールのマダル門前広場								1	1	1	1				
40		ルーバンガルの商店街通り								1	1	1	1				
41		ジャイプールのバリ・チョウバル		1	1	1	1	1			1	1	1			1	1
42		ジャイプールのジョハリ・バサールアーケード								1	1	1	1				
43		マトゥラーのヴィシラム・ガート	1	1	1	1	1	1			1	1	1				
44		マトゥラーのナラガートと寺院	1	1							1	1	1				
45		アードラーのキナリバザール								1	1	1	1				
46		ヴァナランのダシャーシュワモード・ガート	1	1	1	1	1	1			1	1	1				
47		ヴァナランのヴィシワナート寺院周囲の細街路マーケット	1							1	1	1	1				
48		イスラム都市カスバ・メディナの細街路空間		1						1	1	1	1				
49		イスタンブールのカバードマーケット								1	1	1	1				
50		イスタンブールのイエニ・ヴァリデ・キュリエ	1	1							1	1	1				
51		シバムの城壁内街路			1						1	1	1				1
52		サヌアのスクゾーン	1	1						1	1	1	1				
53		ハジャラの城壁内街路			1						1	1	1			1	1
54		マンゴーの船着き場の商店街	1	1	1					1	1	1	1				
55		バンコクのチャイナタウン								1	1	1	1				
56		バンコクのハン橋周辺街路			1					1	1	1	1				
57		ソウルの清流川(復元された流れ)			1					1	1	1	1			1	1
58		台北の士林夜市								1	1	1	1				
59		台北の饒河街観光夜市								1	1	1	1				
60		三峽民権街								1	1	1	1				
61		大溪和平路								1	1	1	1				
62		台北迪化街								1	1	1	1				
63		寺内町今井町の路地								1	1	1	1			1	1
64		浅草の浅草寺と仲見世通り	1	1							1	1	1			1	1
65		茨城県宮松代団地の上の道								1	1	1	1				
66		柏駅前デッキ空間								1	1	1	1				
67		薬師寺伽藍境内	1	1							1	1	1				
68		法隆寺伽藍境内	1	1							1	1	1				
69		さいたま新都心横断歩道橋		1						1	1	1	1				
70		尾道の斜面の細街路と階段								1	1	1	1				
71		琴平の大門手前の参道空間	1							1	1	1	1				1
72		琴平の大門内側の境内	1			1				1	1	1	1				
73		バルテノン多摩の階段		1	1						1	1	1				
74		谷中商店街と夕焼けだんだん					1	1			1	1	1			1	1
75		京都の辻子								1	1	1	1				1
76		横浜デルタ地域の大通り公園		1	1					1	1	1	1				
77		札幌大通り公園	1	1		1				1	1	1	1				
78		大内宿		1	1	1	1	1			1	1	1				
79		竹原町並み								1	1	1	1				
80		海野宿		1	1	1	1	1			1	1	1				
81		奈良井宿		1	1	1	1	1			1	1	1				
82		妻籠宿		1	1	1	1	1			1	1	1				
83		馬籠宿		1	1	1	1	1			1	1	1				
84		金沢近江町市場								1	1	1	1				
85		高山陣屋前広場と上三之町通り								1	1	1	1				
86		外泊石垣集落								1	1	1	1				
87		頼の浦港と町並み		1	1					1	1	1	1				
88		内子町並み								1	1	1	1				
89		伊香保の石段街								1	1	1	1				
90		江戸島の参道空間	1	1							1	1	1				
91		瀬戸内海笠島町筋通り								1	1	1	1				
92		瀬戸内海御手洗旧遊歩街								1	1	1	1				
93		西戸山タワーガーデン広場		1						1	1	1	1				
94		黒鴨とびばき地蔵商店街	1	1		1				1	1	1	1				
95		恵比寿ガーデンプレイスセンター広場		1	1	1	1	1			1	1	1				
96		博多キャナルシティ		1	1					1	1	1	1				
97		横浜クイーンズスクエア	1	1						1	1	1	1				
98		龍戸サングストリート								1	1	1	1				
99		品川東口開発の公園施設								1	1	1	1				
100		六本木ヒルズセンター広場	1	1						1	1	1	1				

な状況で庶民的な内容でプライベート性の強い性能を有する。2軸の(+)側：日常的な性格が強く個人的な性格を有する軸。2軸の(-)側：多数の人間に対応する都市の中心的性能を有する。3軸の(+)側：複合的な空間の性能を有する軸。3軸の(-)側：単一的単純な空間の性能を有する。

この結果から1軸：空間性能軸、2軸：人間集合軸、3軸：空間形態軸と名称づける。

一方100事例のサンプルのスコア表を示すと表5の如くなる。

表5 サンプルスコア表

サンプルNo.	1軸	2軸	3軸	サンプルNo.	1軸	2軸	3軸
1	2.1480	-0.7029	-1.8781	51	-0.4609	2.1442	-0.4423
2	1.6011	-0.3753	-1.5155	52	-0.6379	-0.9010	-0.3429
3	-0.1458	-1.1034	-0.9035	53	-0.5383	2.5796	-0.3756
4	1.5083	-0.9158	-1.5440	54	-0.4904	-0.0092	-0.3817
5	0.3477	-1.0446	0.7412	55	-1.1001	-0.7422	-0.4024
6	0.3477	-1.0446	0.7412	56	-0.9621	-0.7931	-0.1754
7	1.5351	0.1293	-0.6937	57	0.2182	0.6183	-0.2014
8	1.2508	0.0259	1.0581	58	-1.1001	-0.7422	-0.4024
9	1.2465	-0.2808	-1.1059	59	-1.1001	-0.7422	-0.4024
10	2.0018	-0.8571	0.1008	60	-0.6066	-0.6835	1.2423
11	-0.5555	0.6662	1.8435	61	-0.6066	-0.6835	1.2423
12	1.7391	-0.4262	-1.2885	62	-1.1001	-0.7422	-0.4024
13	1.5930	-0.5804	0.6904	63	-1.5796	1.5599	-0.9195
14	-1.0884	0.5990	-0.4370	64	1.1323	0.1113	0.6359
15	0.3014	2.0770	0.7524	65	-0.4345	1.2679	0.1035
16	1.6011	-0.3753	-1.5155	66	-0.7455	-0.8367	-0.8121
17	-1.1001	-0.7422	-0.4024	67	1.0057	0.2314	1.1639
18	-1.4290	2.0208	-0.7343	68	1.0057	0.2314	1.1639
19	-0.4685	-0.7344	1.4693	69	-0.8752	-0.2858	-0.5079
20	-0.4685	-0.7344	1.4693	70	-1.3420	0.6203	-1.1085
21	-0.6039	1.0939	-0.7739	71	-0.7759	-0.8501	-0.5699
22	-0.4685	-0.7344	1.4693	72	-0.3803	-0.5947	-0.4906
23	-0.4685	-0.7344	1.4693	73	1.3203	0.3482	-0.8300
24	2.1480	-0.7029	-1.8781	74	0.3164	1.9334	-0.6812
25	-0.9821	-0.7931	-0.1754	75	-0.1829	2.6892	1.0421
26	1.0041	-1.2612	0.0748	76	-0.1364	0.7128	0.2082
27	1.1871	2.0890	-1.8639	77	0.9614	-0.5883	-1.1814
28	1.1871	2.0890	-1.8639	78	-0.1547	-0.3502	-0.5486
29	-1.1001	-0.7422	-0.4024	79	-0.4390	-0.4536	1.2032
30	-1.1001	-0.7422	-0.4024	80	-0.3009	-0.5044	1.4302
31	1.0359	0.5692	1.2758	81	-0.7944	-0.5632	-0.2145
32	1.6660	0.3159	0.9422	82	-0.7944	-0.5632	-0.2145
33	-0.6814	1.5293	-0.7072	83	-0.7944	-0.5632	-0.2145
34	-0.5308	-1.0556	-0.6757	84	-1.1001	-0.7422	-0.4024
35	0.9142	-0.3780	1.2675	85	0.7458	-0.3739	0.8586
36	0.4346	0.3382	1.7882	86	-0.6764	2.6304	-0.6026
37	-1.1001	-0.7422	-0.4024	87	-0.0359	0.8621	-0.5495
38	1.7435	-0.1195	0.8755	88	-0.6066	-0.6535	1.2423
39	-0.0140	0.4303	1.4963	89	-0.3615	-0.8990	1.1365
40	-1.3376	0.1974	-0.2134	90	-0.3910	-0.8979	-0.7977
41	0.5400	-1.3110	0.3643	91	-0.2255	1.5237	1.2183
42	-1.2501	-0.2380	-0.2801	92	-1.4716	0.8554	-0.5582
43	1.2289	0.4793	1.4074	93	0.0515	2.1804	0.6292
44	0.5988	0.7325	1.7410	94	-0.1762	-1.1501	-1.0854
45	-1.1001	-0.7422	-0.4024	95	1.0318	-0.0619	-1.2422
46	1.3889	-0.0250	1.2852	96	0.6387	-0.2193	1.1914
47	-0.7759	-0.8501	-0.5699	97	0.0555	-0.3904	0.6716
48	-1.2040	0.5694	-0.8814	98	-0.7455	-0.8367	-0.8121
49	-1.1001	-0.7422	-0.4024	99	0.0591	1.3267	1.7482
50	0.8552	-0.2296	0.9788	100	1.5911	0.1224	-1.6466

このサンプルの1～3軸のスコアをもとにクラスター分析(クラスター数：5)をした結果を示すと以下のようなになる。(表6 クラスター分類表参照)
 クラスターa：日常的な庶民の暮らしを基盤とする中で大衆の生活を指向するグループである。代表的な事例として「ラサの八角街」「麗江の

表6 クラスター分類表

クラスター	50分割No.	サンプルNo.										
a	3	3	94									
	14	17	29	30	37	45	49	55	58	59	62	84
	18	25	56									
	23	34	90									
	29	47	52	71								
	33	54	69									
	38	66	98									
	40	72	78									
	46	81	82	83								
	5	5	6									
7	8	46										
9	10											
10	11											
11	13											
13	15	93										
19	26											
21	31	43										
22	32	38										
24	35	50	85	96								
25	36	44										
26	39											
28	41											
36	64											
39	67	68										
42	75											
47	91											
48	97											
49	99											
12	14	92										
15	18	63										
17	21	33										
20	27	28										
27	40	42										
30	48	70										
31	51											
32	53	86										
34	57	87										
37	65											
41	74											
43	76											
1	1	24										
2	2	12	16									
4	4											
6	7	73										
8	9	95										
44	77											
50	100											
16	19	20	22	23								
35	60	61	88	89								
45	79	80										

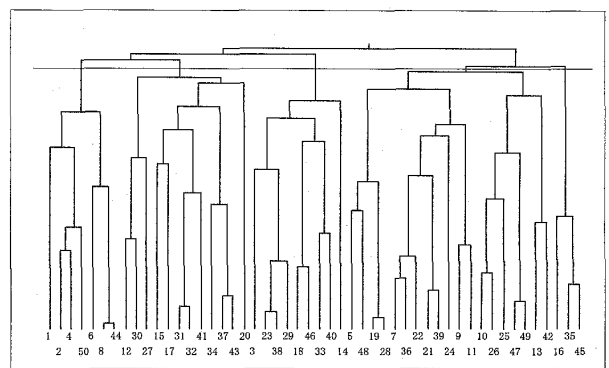


図1 クラスター分類樹形図

街路空間」「アグラのキナリバザール」等が挙げられる。

クラスターb：どちらかというと都市全体的内容をカバーし人間集合的にはあらゆる内容を有し、複合的空間に対応するグループで代表的事

歩行者空間の類型化

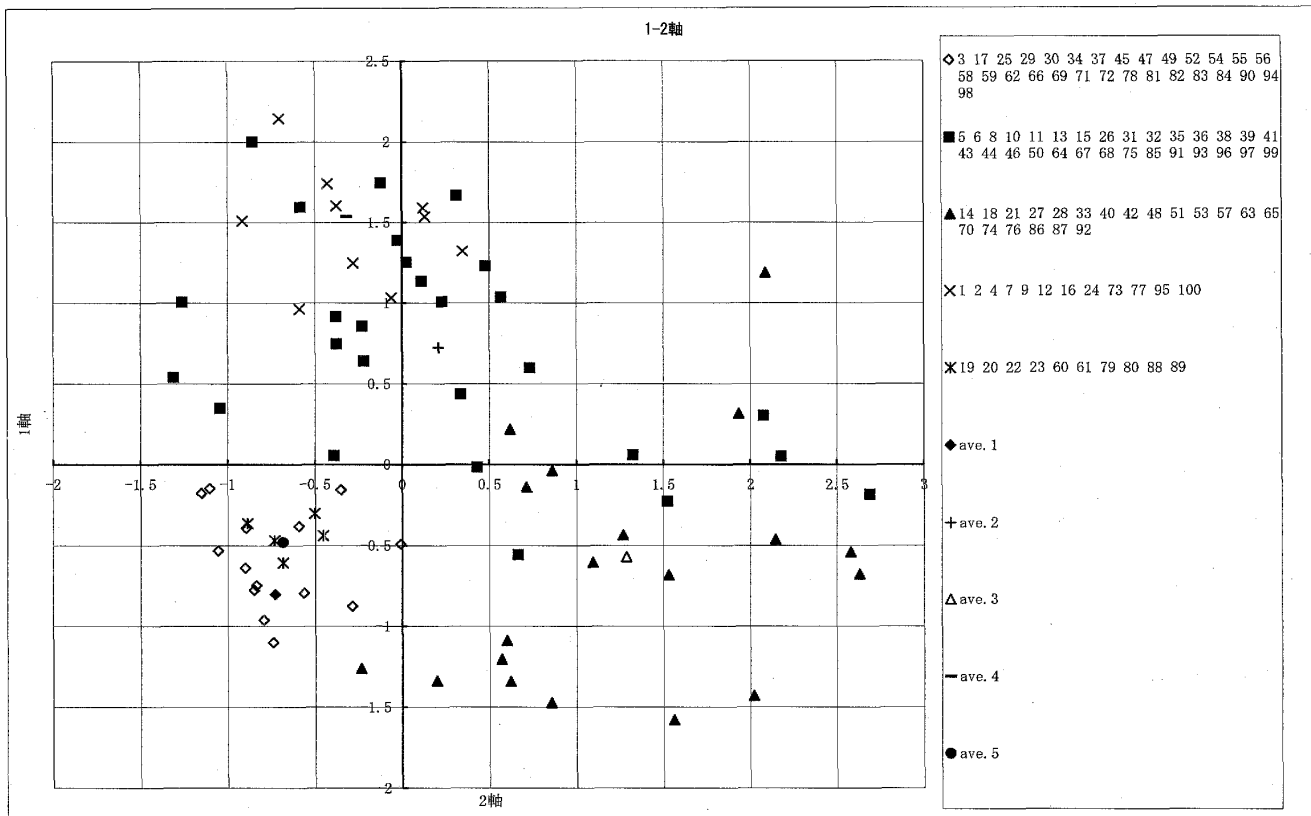


図2 サンプル1-2軸グラフ

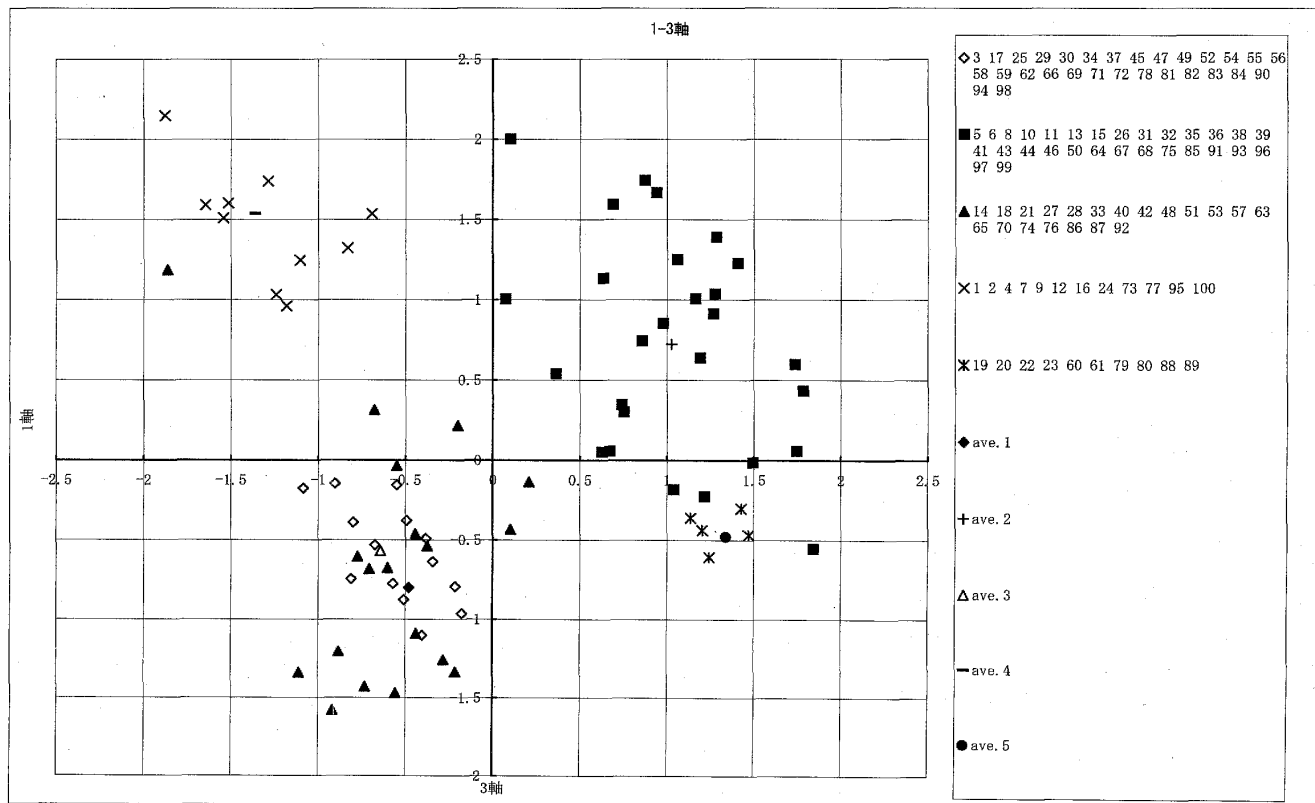


図3 サンプル1-3軸グラフ

例として、「ネパールのバクタプール タチュパルトール」「浅草寺と仲見世通り」等がある。
クラスターc：庶民的空間で比較的個人レベルの空間的特徴であるグループで代表的事例として「バクタプールの生活中心の通り」や「北京の胡同」が対応する。

クラスターd：都市全体的な空間として位置づけられ判りやすい空間形態を持ち、どちらかという大量の人間集合に対応するグループで、代表的事例として「麗江の四方街」「パルテノン多摩の階段」「札幌の大通り公園」「恵比寿ガーデンプレイスのセンター広場」「六本木ヒルズセンター広場」等が対応する。

クラスターe：庶民的な活動を受け入れる空間で大衆的人間集合に対応ししかも複合的な内容を有し、代表的事例として「角直の廊棚」等蘇州周辺の水郷鎮の水辺の商店街空間、「山峽民権街」「大溪和平廊」「竹原町並み」「伊香保の石段街」などである。

以上のクラスター毎の内容をふまえると二つのレベル分けのできる尺度が浮かび上がってくる。ひとつは人間集合の規模によるレベルで、**クラスターd**→**クラスターb**→**クラスターe**→**クラスターa**→**クラスターc**という並び順である。同様に空間の日常性によってレベルを整理すると、**クラスターd**→**クラスターb**→**クラスターe**→**クラスターa**→**クラスターc**となり、これは人間集合の規模によるレベルと一致する。つまり、都市全体で人間集合の規模の大きなものに対応する対象から、個人レベルで庶民の日常的生活空間に対応する対象に至る尺度化がこれに対応する。このレベル分けの段階を以下のように読み替えると理解が早い。

クラスター	d	b	e	a	c
レベル	5	4	3	2	1

なおここで示す5つのレベルは、空間の優劣を示すものではなく、同一尺度上の分類である。

4. 歩行者空間の概念規定モデルの構成

前述100の歩行者空間の事例を分析した結果得られた二つの尺度と5段階のレベルを視覚化するために概念規定モデルを示す。

数量化Ⅲ類の分析結果より、1軸：空間性能軸、2軸：人間集合軸、3軸：空間形態軸の3軸の構成を得ることができた。本論では、この3軸構成のうち、寄与率の高い主要2軸をもとに構成されるモデルを考える。またこの主要2軸の解釈は、前述クラスター分析の結果得られた5つのレベルを示す尺度と一致していることから、まず2軸の選択は妥当であると考え。第3軸の扱いについては、今後の検討課題としていきたい。

この主要2軸によって導き出されたものが歩行者空間の概念規定モデルである。つまり、歩行者空間を概念規定づけるのに空間の規模（1軸の内容）と人間集合の規模（2軸の内容）の両者で定義づける以下のモデル図に示すごとの図式が生まれる。（図4参照）

空間軸においては、都市全域を対象としその都市のイメージの中心的役割を担う空間をもっとも高位に位置づけ、下位のレベルは、都市の限定された部分空間に対応する役割を担う対象とし、中間的なものを間に位置づける。つまり3段階構成である。人間軸についても、不特定

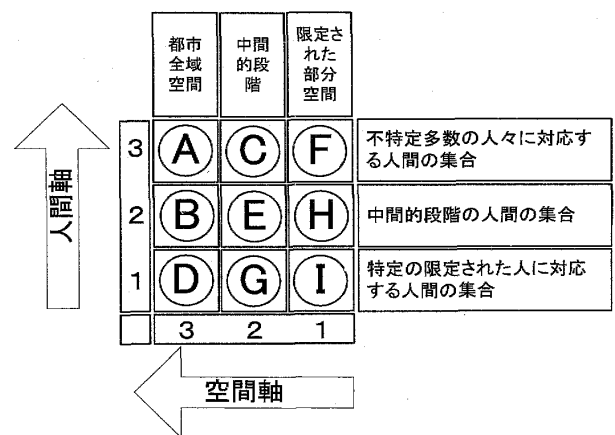


図4 歩行者空間の概念規定モデル

多数の人間、都市全体に及ぶ人間集合を高位として、特定の限定された人間に対応する集合を下位として中間値を間にとることとしている。2軸をともに3段階構成とする結果として、A～Iの9つの類型が生まれる。このモデルのA類型は都市全域を対象とし、その都市のイメージの中心的役割を担う空間でしかも不特定多数の人間、都市全体に及ぶ人間集合を対象とする空間である。つまり、クラスターeに相当する。事例としてはラサのポタラ宮広場やバクタプールのタウマンディートル、あるいは麗江の四方街である。それに対してI類型はクラスターcに相当する。事例としては北京の胡同や尾道の斜面の細街路空間が該当する。

このように歩行者空間の概念規定モデルによる9つの類型と、数量化Ⅲ類によって導かれたa～eの5つのクラスターによる類型との間の整合性を検討することによって両者の関係性とモデルの妥当性を確認することとなる。

5. 概念規定モデルの妥当性検討

図5 ランキング評価リストは多変量解析でレベル分けした100事例のうちその1/5すなわち20事例について歩行者空間の概念規定モデルによるA～Iの類型ランキングを試みたものである。空間軸、人間軸いずれも3段階で比較的簡便な尺度であるため、評価者は現地調査に行っているスタッフの合議でその位置づけを定めている。若干その位置づけに幅がある場合はサブ的位置づけを加えている。●がメインで●をサブ的位置づけとしている。

この20事例のクラスターとランキングの対応をみると、クラスターaに属する事例はランキングではGまたはHに示され、クラスターbはBまたはC、クラスターcはI、クラスターdはA、クラスターeはDまたはEおよびFに示されることがわかる。これにより、5つのクラ

スターのレベルは概念規定モデルの対角線上に示される5段階に対応することが検証された。これらの関係を示したものが図6である。

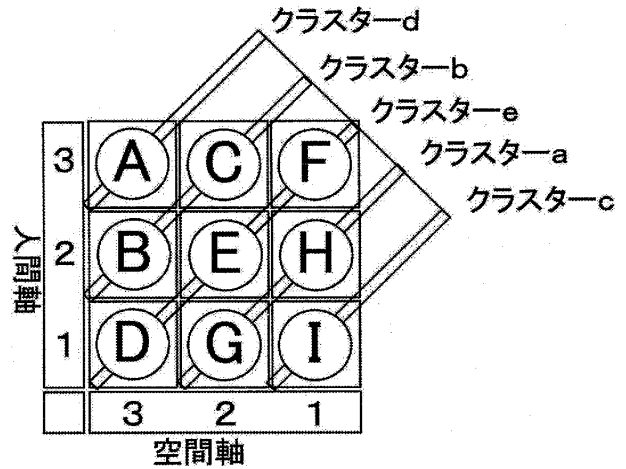


図6 歩行者空間の概念規定モデルの尺度化

次にこの図6における対角線上の尺度をどのように名称づけるかが課題となる。

レベル5はパブリックプライベートという概念で考えるとすると最もパブリック度の強い位置づけになり、レベル1は最もプライベートに近い概念と言えよう。別な見方でいうならレベル5は都市全体を巻き込むイベントを受け入れる場で、レベル1は向こう3軒両隣の言葉に相当するような最も小規模なコミュニティ空間でもある。言うなればレベル1から5は都市におけるコミュニティの内容と規模を元にした「都市コミュニティ軸」と言えるであろう。

6. 今後の展望

当論文の全体の流れを示すと以下のようなになる。都市の歩行者空間の多くの事例を元にして、それを記述するためのカテゴリーを抽出し、数量化Ⅲ類の多変量解析を適用させたときに前述の事例を把握するための主要な軸構成が導き出される。その代表的な3軸を元にサンプルのグループ化をクラスター分析によって行い、クラスターの特徴から5つのレベルを導いた。また代表的な3軸の中で主要2軸を概念として取り

	<p>004:カトマンドゥの王宮広場 クラスターd レベル5 ナパールの首都カトマンドゥのイメージの中心広場は王宮にそった広場で、いくつもの寺院が広場内に位置している。ダール・ハール・スクエアと呼ばれている。</p>		<p>003:ラサの八角街 クラスターa レベル2 大昭寺を中心とする巡礼路の一つがパルコル(八角街)と呼ばれ、右回り人々は祈りながら回る。パルコルには常設設の商業施設が並ぶ。</p>
	<p>024:麗江の四方街 クラスターd レベル5 麗江の四方街は町の中心の広場で四方へのびる街路の交差する中心という意味をもっている。商業施設が並びイベント空間となっている。</p>		<p>034:アムラプラのバザール空間 クラスターa レベル2 カランアスム王国の都のバザール(市場)は表通りから一歩みった位置にあり、4つのゾーンに分かれて区分され、その入り口部分に市場の寺がある。</p>
	<p>006:カトマンドゥのケルトール クラスターb レベル4 17世紀建立のマチェンドラナート寺院の前広場。マチェンドラはヒンドゥー教と仏教両方から信仰される雨と豊穡の神である。</p>		<p>052:サヌアのスークゾーン クラスターa レベル2 標高2300mの高原盆地の首都であるサヌアの旧市街は6つの門と多くのモスクのミニレットが立つ町でその中心はイェメン門から延びる喧嘩のスークゾーンである。</p>
	<p>036:プシュカルのガート空間 クラスターb レベル4 プシュカル湖の周囲にできたヒンドゥー教の聖地である湖に接する空間は階段状のガート空間が続き沐浴の空間となっている。</p>		<p>059:台北の饒河街観光夜市 クラスターa レベル2 台北松山駅の北側の寺慈裕寺を起点として八徳路四段の大通りまで約400mが範囲で、庶民的な夜市である。</p>
	<p>043:マトゥラーのヴィシュラム・ガート クラスターb レベル4 ウツタル・ブラデーシュ州マトゥラー県の真鍮、ザムナール川に沿ったヴィシュラム・ガートは最も重要なガートである。</p>		<p>072:琴平の大門の内側の境内 クラスターa レベル2 金刀比羅宮の大門の内側は奥社まで斜面と階段が続くが、商業施設はなく、神聖な参道空間となっている。</p>
	<p>068:法隆寺伽藍境内 クラスターb レベル4 奈良斑鳩の里法隆寺は世界最古の木造建築として重要な文化財である。金堂と五重塔が並び境内は神聖な空間となっている。</p>		<p>084:金沢の近江町商店街 クラスターa レベル2 石川県金沢市の中心部にある市場で、生鮮食品、生活雑貨を扱う小売店が主体の市場である。約170店舗の商店、飲食店が軒を連ねている。</p>
	<p>096:博多キャナルシティー クラスターb レベル4 福岡市博多区にある複合商業施設である。中央のオープンスペースに運河の空間を作り、イベント空間としており名称の由来となっている。</p>		<p>021:西糖の石皮弄 クラスターc レベル1 蘇州の南東約60kmに位置する水郷鎮で石皮弄は住居の間の細街路で幅員平均1mとせまい。間に住居への入り口が配置されている。</p>
	<p>015:客家の土楼内 クラスターe レベル3 漢族の城塞的形態をもつ集合住宅である。中央に祠堂や井戸が配置され、集合住宅に居住する人々の共用広場を構成している。</p>		<p>048:イスラム都市カスバメディナの細街路空間 クラスターc レベル1 イスラムの都市の一般形であるが幅員が限られた細街路が都市全体を均質に埋め尽くす。外資者にとって迷途状であるが、居住者にとっては共用空間である。</p>
	<p>019:角直の廊棚 クラスターe レベル3 蘇州の東25kmにある古鎮で南北に走る南市河に沿った屋根付きの商店街通りで水路に沿った部分にベンチが設置してくつろぎの空間を構成している。</p>		<p>063:寺内町今井町の路地 クラスターc レベル1 奈良県橿原市にある中世の積層集落を母体として発達した町である。細街路を基本として防備の体制を取った町のスタイルが保存されている。</p>
	<p>061:大溪和平路 クラスターe レベル3 清国時代からの物資の集散地であった商業都市大溪で最も繁栄した商店街が和平路である。車道の両側に石造りの亭子脚が並び特徴ある街並みとなっている。</p>		<p>086:外泊石垣集落 クラスターc レベル1 愛媛県の石垣で組まれた漁村集落で、未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産目録に選定されたもの。</p>

図5 ランキング評価リスト

上げ、先のクラスター分析の結果と合わせて2軸構成からなる新たな概念規定モデルを作成した。これによって導き出された9つの類型ランキングに事例を対応させ、クラスター分析によって得られた5つのレベルと概念規定モデルの対角線上に表れる尺度が一致することを検証し、その尺度を定義づけることができた。このように多変量解析で導入した主要概念を元にモデルを作り上げるといふ道筋が検証された事と言えるのではないかと判断している。

そして、広場の伝統のある国々にも路地裏や道路の形態での歩行者空間が活きた状況にあることがわかっており、ヨーロッパを含めた検討を行っていきたいと考えている。

今後はこのモデルを元に計画論に結びつけていく道筋を作り上げていくことが課題と言えるであろう。

参考文献

1. 芦川智・金子友美・鶴田佳子・高木亜紀子, 都市の歩行者空間の概念規定とその条件, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 2007年9月
2. 芦川智・金子友美・鶴田佳子・高木亜紀子, 凸多角形による広場の形態分析, 昭和女子大学大学院生活機構研究科紀要, Vol.15, 2006年
3. 芦川智・金子友美・鶴田佳子・高木亜紀子, 麗江(中国)・九份(台湾)・伊香保(日本)等

- の歩行者空間—アジアの歩行者空間に関する研究(その1)—, 昭和女子大学学苑, No.793, 2006年11月
4. 芦川智・金子友美・鶴田佳子・高木亜紀子・田中涼子・山口英恵, 階段とその空間特性—アジアの歩行者空間に関する研究(その2)—, 昭和女子大学学苑, No.801, 2007年7月
 5. 芦川智・金子友美他5名, 中国的空間のスケッチ, 昭和女子大学学苑, No.715, 1999年11月
 6. 芦川智・金子友美・高木亜紀子・山本綾子, チベット・ネパール地域都市広場形態についての考察—2000年第12回海外都市広場調査報告—, 昭和女子大学学苑環境文化特集, No.737, 2001年
 7. 芦川智・金子友美他3名, 中国蘇州周辺地域等都市広場形態についての考察—2002年第14回海外都市広場調査報告—, 昭和女子大学学苑, No.759, 2003年12月
 8. 芦川智・金子友美他3名, バリ島地域都市広場形態についての考察—2004年第16回海外都市広場調査報告—, 昭和女子大学学苑環境文化紀要, No.777, 2005年7月
 9. 芦川智・金子友美他3名, インド北部地域都市広場形態についての考察—2005年第18回海外都市広場調査報告—, 昭和女子大学学苑, No.781, 2005年11月
 10. 芦川智, 空間配列についてのノートその3—広場の形態論—, 昭和女子大学学苑, No.535, 1984年7月

(かねこともみ 生活環境学科 講師)

(あしかわ さとる 生活機構学専攻 教授)

受理年月日 平成19年9月28日

審査終了日 平成19年12月3日